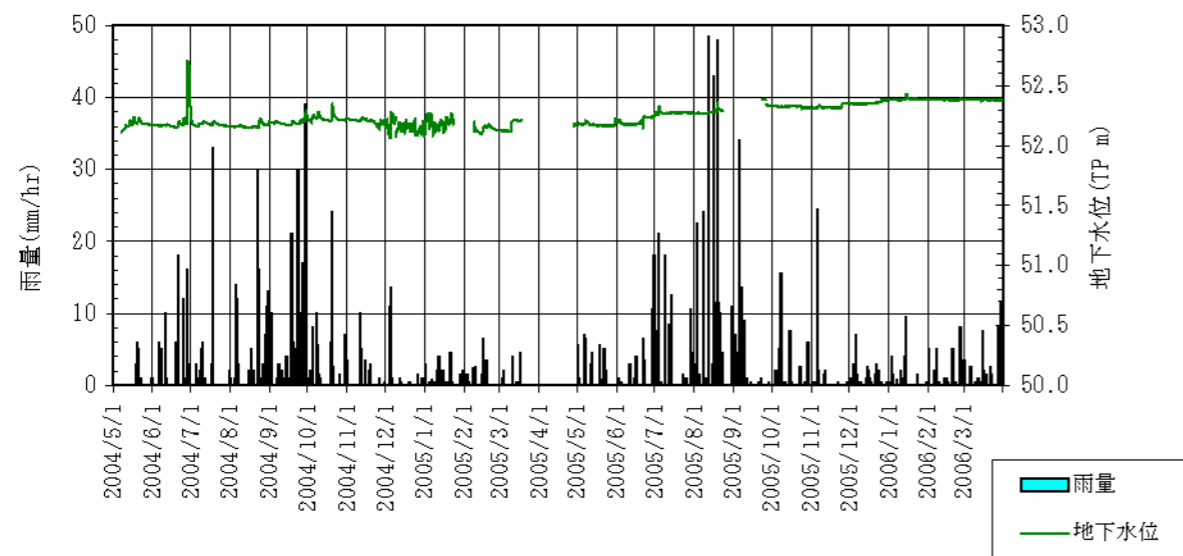
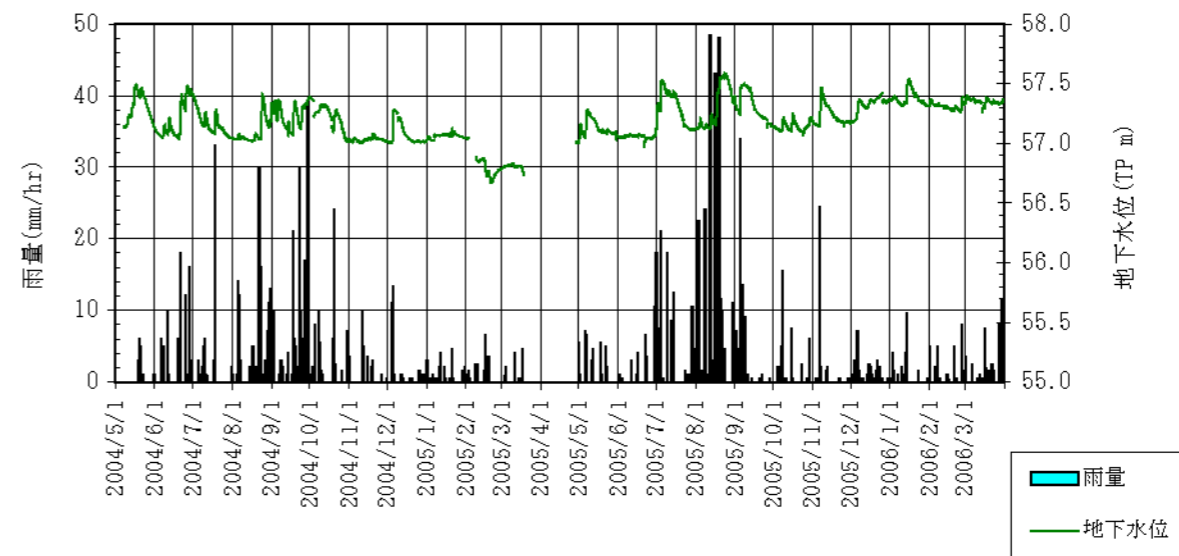


1 地下水位・電気伝導率の連続観測 (Bw-01, Bw-02)

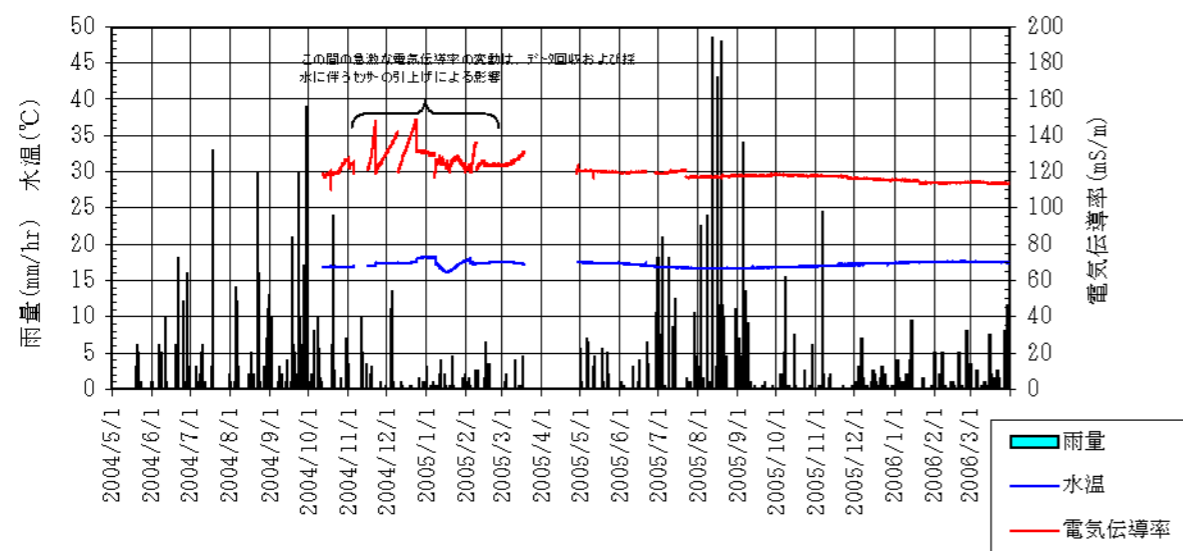
<Bw-01：地下水位>



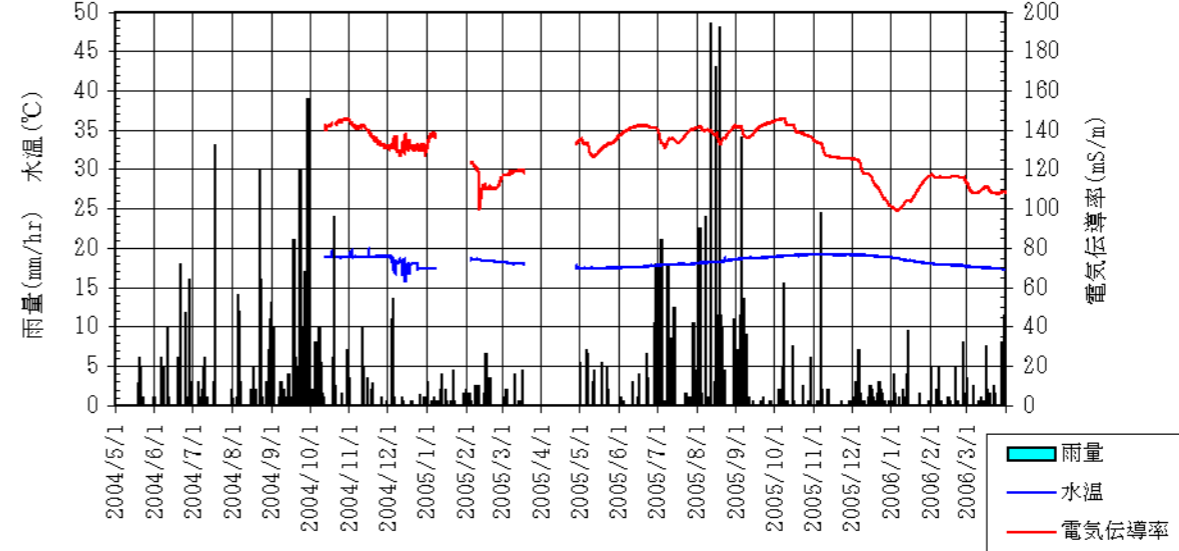
<Bw-02：地下水位>



<Bw-01：水温・電気伝導率>



<Bw-02：水温・電気伝導率>



<地下水(Bw-01・Bw-02)>
 地下水位に関してはBw-02で比較の変動が大きく現れており、降雨による水位上昇が鋭敏である。両地点ともに、おおむね詳細調査までの変動範囲内で推移しており経年的な変化は認められない。
 電気伝導率に関しては、Bw-01では観測当初にはデータ収録や採水によるセンサー引き上げによる影響が強く出ていたが、現在までは120mS/m前後を示し比較的稳定している。一方、Bw-02では、100～140mS/mを示し、降雨が多い夏期に高い電気伝導率を示し、秋期～冬季に低くなる周期性が伺える。
 なお、経時的な変化の傾向については、Bw-01およびBw-02ともに詳細調査で見られた変動の範囲内で推移しており経年的な変化は見られなかった。